



School

教育情報 桂川っ子

【問合先】桂川町教育委員会 ☎65・1149

■^{きた}鍛ほめ福岡メソッド展開

桂川中学校 校長 深見秀人

「鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす！」は、「鍛ほめ福岡メソッド」のコンセプトです。

「鍛ほめ福岡メソッド」とは、学ぶ意欲や向上心、逆境に立ち向かう心など、子どもが自律的に成長するための原動力となる資質を育成するための福岡県独自の指導方法です。指導者は子どもに「少し難しい目標や課題を設定し（鍛える）」、子どもは周囲の人たちから最小限の支援を受けながら何度も「挑み」、目標に向かって活動に取り組んだ過程や結果を「認められる（ほめる）」という仕組みからなるものです。

本校においても、この方法を教育活動に取り入れ、実践しているところ。保護者のみなさまにもこの取り組みの趣旨をご理解いただき、毎日の登下校には、車での送迎をできるだけ控えていただければと思います。歩きや許可された自転車通学は、体力や忍耐力の向上、自然への気づきや友達とのコミュニケーションの機会を増やすなど子どもの成長にとってのメリットがたくさんあります。

教育は、学校・家庭・地域の三者がそれぞれの役割を果たしながら連携すると効果的です。ご家庭でも意識していただき、鍛えて、一生懸命がんばっている姿や達成した姿をほめて、子どもたちを育てましょう。

■平成28年度「全国学力・学習状況調査」における桂川町の児童・生徒の状況(その2)

桂川町教育委員会

10月号に引き続き本年度の「全国学力・学習状況調査」から見える桂川町の児童・生徒の状況を報告します。調査では学力の状況だけでなく、学習の状況や生活実態も見えてきます。桂川町が全国平均や県平均と比べてポイントの高い項目を下図に抜粋しました。



【規範意識や友達関係】は、小中学校ともに全国平均よりも高く、友達関係も良好であろうと思われれます。

また、「道徳の学習」「読書活動」の項目が良好で、子ども達の心の醸成が出来るのではないのでしょうか。

【学校生活】【授業】の項目のポイントも全国や県よりも高く、学校生活を前向きに捉え、学習に臨む意識が

充実していることがうかがえます。

また、「教師への意識」の項目のポイントも高く、教師と子ども達の関わりも良好であるようです。

しかし、全国平均と比べて改善を必要とする項目として、

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」

この2つの項目が、小中共に課題として上がっています。地域社会での活動機会を積極的に活用していたらいいと思います。

【規範意識や友達関係】

「学校のきまりを守っている」
「友達との約束を守っている」
「人が困っている時は、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」

【教師への意識】

「先生は、自分のよいところを認めてくれると思う」
「先生は、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」

【学校生活】

「学校に行くのは楽しいと思う」
「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」
「友達の前で自分の考えや意見を発表している」
「友達と話し合う時、友達の話や意見を最後まで聞いている」

【授業】

「好きな授業がある」
「授業では自ら考え自分から取り組んでいる」
「ノートには、学習のめあて・ねらい・まとめを書いていた」
「授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行っている」
「授業では、話し合う活動をよく行っていた」
「学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていた」
「話し合いの活動で、自分とは異なる意見を生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている」